

第 29 回岐阜県原爆死没者慰霊祭へのメッセージ

第 29 回岐阜県原爆死没者慰霊祭にあたり、戦争により尊い命を失われた死没者のみなさまに心から哀悼の意を表します。

岐阜県における生活協同組合の歴史は 70 年余を数えます。当初より、地域の中でさまざまな人や組織が協同することにより、地域のくらしや仕事、社会を、持続可能でよりよいものにしていくことを使命として活動してきました。平和の取り組みはその原点ともいえるものであり、生活者一人ひとりの立場から「台所から平和を」願い、命を守る平和の活動を進めています。そして、ヒロシマ・ナガサキを忘れず、核兵器廃絶を願い一人ひとりが考え行動しています。

岐阜県原爆被爆者の会(岐朋会)の皆様には、「岐阜県ピースアクション連絡会」に毎年ご参加いただき平和の活動をともに進めております。去年は、3 年半に渡り一緒に取り組んだ「ヒバクシャ国際署名」が、今年 1 月 22 日の核兵器禁止条約の発効という大きな成果につながりました。そして、この活動を通して、県内の各地域に核兵器廃絶の運動が着実にひろがりました。

終戦から 76 年を数える今年、世界は重大な岐路に立っています。日本国民の 7 割が核兵器禁止条約への参加を望んでいる今こそ、全世界で大きく動き始めた核兵器廃絶へのうねりを確かなものにしていくために、私たちはさらに力を集めていくことが必要であると考えます。

被爆者の方々と一緒に活動できる貴重な時間を大切に、これからも岐朋会の皆様とともに、若い世代への方に核兵器廃絶の願いを継承する取り組みを進めてまいります。日頃よりの感謝とともに、引き続き私たちとともに平和の取組みを進めていただくことをお願い申し上げます。

2021 年 9 月 17 日 全岐阜県生活協同組合連合会 会長理事 大坪 光樹